



22142274



International Baccalaureate®
Baccalauréat International
Bachillerato Internacional

JAPANESE B – HIGHER LEVEL – PAPER 1
JAPONAIS B – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 1
JAPONÉS B – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 1

Tuesday 13 May 2014 (morning)

Mardi 13 mai 2014 (matin)

Martes 13 de mayo de 2014 (mañana)

1 h 30 m

TEXT BOOKLET – INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for paper 1.
- Answer the questions in the question and answer booklet provided.

LIVRET DE TEXTES – INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

CUADERNO DE TEXTOS – INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

Blank page
Page vierge
Página en blanco

問題 A

むけい いさん
和食を世界無形遺産に

日本の伝統的な食文化「和食」を世界無形遺産に登録しようという動きがあります。和食について、考えてみましょう。

[-例-]

食べ物には、一番おいしい時期「しゅん」があります。
「しゅん」とは、自然に育てたやさいや果物がとれる季節や、魚がたくさんとれる季節のことで、食べ物によって違います。

[-1-]

日本には、はっきりとした四季があり、季節によってとれる物が違います。
国土の70%が森林で、山と川がたくさんあります。
海にかこまれているので、魚など「海のさち」がたくさんあります。

[-2-]

人間は5つの味 — あまい、すっぱい、しおっぱい、苦い、うまい — が分かります。
食事のとき、どんな味が感じられるか、ゆっくり味わって食べましょう。

[-3-]

「いただきます」は「食べる」や「もらう」という言葉から来ています。日本人は「いただきます」と言って、まわりの人、料理の知恵、命、労働など、色々なものに感謝を表します。

「もったいない」

材料を使わないで するのは、もったいない。
食べ物を残すのは もったいない。

[-4-]

食べる	— 食事の前に「いただきます」と言う。
	— 自然に感謝して残さず食べる。
学ぶ	— 本を読む、人に聞く。
作る	— 学校で、家で
教える	— 家族に、海外の人に



参考：2013年7月1日 www.maff.go.jp

問題 B

おもちゃを通して木に親しむ

今年は森林をどうしたら いつまでも使い続けられるかを考える国連の国際森林年です。でも、現代の人は、なかなか林業の現場を目にする機会がありません。そこで、木のおもちゃを通して、森について関心を持ってもらおうとする人たちがいます。東京おもちゃ美術館は様々な木のおもちゃを じょうかいしています。みなさんも おもちゃを通して森について考えてみませんか。



東京おもちゃ美術館には様々な おもちゃがあって、手に取って体験することができます。美術館の おもちゃの ほとんどは日本の木を使ってできています。日本は国土の約 70% が森林ですが、外国から安い木材が輸入されるようになり、国産の木材はあまり使われなくなりました。山には立派に育った木があるのに、使われないので、あれいくことが問題になっています。

藤原 浩司さんは美術館に展示するおもちゃを作る人の一人です。奈良県中南部から来るスギという木を使って、人形を作ります。スギは長い間、住宅の 材料 としても広く使われてきました。日本は長い間、木を使って、また育てて、木の文化をまもってきました。おもちゃで使われる りょうは ほんの少しですが、それでも、子どもが木に さわることは大切です。また、さいたま市の神岡学さんは古い木を使っておもちゃを作るワークショップを開いています。

新宿区は今年から新宿区で生まれた赤ちゃんに、国産木材を使った製品を無料でとどける「ウッド・スタート」という活動を始めました。目的は小さなときから木にさわって親しんでもらい、将来日本の森林に関心を持つてもらうことです。このように、みんなで木の文化をまもっていくことは、大切です。

参考：2011年9月8日づけ朝日小学生新聞

問題 C

にんじゃ
忍者は情報が命!

みなさん、「忍者」という言葉を聞いたことがありますか。
忍者は、ひみつの方法で上手に戦ったと、日本だけではなく、
世界でも名を知られています。



- 5 忍者については、分かっていない事がたくさんあります。忍者はその技を主に口伝えて教えていたのが、歴史的な書類が少ない理由の一つです。

忍者は江戸時代（1603年～1868年）の大名にやとわれて、戦ったり情報を集めたりして活躍したと考えられています。足で目的地を回って、実際の様子を自分の目でたしかめ、正しい情報をえていたのです。「百聞は一見にしかず」（何度も聞くより、一度自分の目で見たほうがいい）という日本のことわざがありますが、この考え方たは今の時代でも大切にされています。例えば商売をするときや、地震などからあげるとき、正しい情報は非常に大切なことです。

三重県伊賀市では最近、忍者関係の活動を色々しています。例えば、研究団体が子どもむけの「忍者の教科書」を出しました。また、三重大学では、忍者についての研究を学問として始めます。その学科の教授になったのが、「最後の忍者」ともよばれている川上仁一さんです。忍者は空を飛ぶなど何でもできたスーパーマンだったという間違った考え方もあり、「研究を通じて、忍者の正しいすがたを発信したい」と川上さんは語ります。川上さんは、忍者には様々な仕事があったと言いますが、現代に生かせるものとしては、やはり情報収集を挙げます。「今は、インターネットで情報があふれていますが、うその情報もたくさんあります。自分の力で情報をを集め、正しく判断できることの大切さを伝えたい」とそうです。

伊賀市では町おこしのために、今年のゴールデンウィークに忍者の技を体験したり、忍者の着物を着て散歩できたりするイベントを計画しています。こうした活動が観光にもつながると期待しています。

参考：2012年3月1日づけ朝日小学生新聞

いかりを発散^{はっさん}しようと、僕は窓ふきを始めた。家じゅうの窓をふき終わってもまだ力があまつていたので、ゆかのワックスがけもした。それでもまだ足りなかつたので、ありつたけのなべのそこをみがいた。

ようやく気がおさまってきたころに、わたるがやつてきて紙ぶくろを差し出した。白くて大きな紙ぶくろを手に受け取ると、ふくろのしめり氣と温みが手の平に伝わってきた。

「五個あるから、三個はおまえが食え」わたるは言つた。

ふくろの中身は、肉まん一つとあんまん一つとカレー肉まんだった。

「わたる、料理覚えろよ」カレー肉まんをほおばりながら言うと、わたるも肉まんで口をいっぱいしながら、

「おれには料理の才はないんだ」と答えた。

〈中略〉

ひきしぶりにわたらと会話を交わした、と思つた。この父親を僕はやつぱりきらいなんだと思つた。きらいでも、まあいいか、とも思つた。きらいであることに、あんまり意味がなくなつている感じだつた。

大人になりつつあるんだろうか、僕は、ちよつとつまらなかつた。つまらない、ということにも、さほどの意味があるわけではないのだけれど。

30

25

20

問題 D

15

10

5

みゆきと、初めてけんかをした。

「だって、ゆずるつて、冷たい」と言うのが、みゆきの言い分だつた。

「どこが冷たいの?」僕はとほうにくれて聞いた。

「だって、とにかく、冷たい」

僕は毎日みゆきに電話する。けいたいに来たメールには、すぐに返事を返す。予備校にいっしょに通いたいと言わればしたがうし、みゆきが行きたい所へは、ちゃんとおともする。

「だから、したがうとか、おともとか、冷たすぎ」

みゆきの語調に、僕はたじたじとする。

どうすれば、いいの。僕はおそるおそる聞く。

「どうすればいい、なんて聞かれても困る」

△中略△

僕はためいきをつくしかなかつた。けんかは物別れに終わつた。すごすごと帰つてきた僕に、わたるがこえをかけた。

「女とけんかしたのか?」

見すかされてかつと頭にちが上り、僕はかべをこぶしでたたいた。本当はわたるをたたきたいところだけれど、たぶん僕のほうが力が強いので、がまんした。

『午前六時のバケツ』からの一場面

川上 弘美

二〇一一年

問題 E

つうやく
電話機が通訳します!

「ハ、ハロー……。アイ アム …… コーリング…… フロム ジャパン。
(こ、こんにちは。私は日本から電話しています。)」

英語が苦手な会社員は海外に電話するとき、いつも困ります。そんな ときのため
に、外国語ができなくても、機械が通訳して、外国人と話ができる — そんな ゆめ
5 のような電話が実用化されています。

東京のある通信会社に行ってみました。その会社の研究開発センターの那須さんがスマートフォンに話しかけています。「京都に行きたいです。東京から京都までどのくらい時間がかかりますか。また、秋の京都では、どこを見物したらいいですか。」電話に話しかけると、画面にその文章が文字で表示されました。その後すぐに、英語にほんやくされた文章が出て、さらにその文章を英語でしゃべりだしました。画面上のボタンにタッチすれば、英語でしゃべって日本語に通訳することもできます。

スマートフォン専用のアプリをダウンロードしなければなりませんが、これなら外国人ともおしゃべりできそうです。「通訳さん」に電話しているのではありません。インターネットのむこう側では、クラウドという技術が使われています。理想的な条件の下で話せば、しゃべった内容の 90%以上は正確に伝わるそうです。



これは「通訳電話サービス」といい、今月 4 日、試験サービスが始まります。一部の会社では 9 日から使いはじめています。対応言語は現在日本語と英語、日本語と韓国語です。「ただの通訳だけではなく、人ととのコミュニケーションを助けるサービスにしたいと考えています」と那須さんは話します。現在は通訳しかできませんが、将来は店の予約や天気についての質問に答えるなど、色々な手伝いができるることを目指すそうです。

参考：2011 年 11 月 15 日づけ朝日小学生新聞